



www.nextcom.co.jp

平成19年3月期
第3四半期決算説明会
ネクストコム株式会社

Copyright 2007 NextCom K.K.

1



www.nextcom.co.jp

平成19年3月期
第3四半期決算概況(連結・単体)

取締役常務執行役員 管理本部長
佐野 秋生

Copyright 2007 NextCom K.K.

2

第3四半期決算総括

システム構築を含む複合型提案と
サービス型ビジネス推進で採算性向上。
利益は計画に沿って推移。

【受注・売上】

- 主要通信事業者向けビジネス減少により対前年同期比で減収。
- ボイス/データ/システムの複合提案で引合は増加傾向。

【利益】

- 営業利益は販管費増加により前年同期比で減益。
売上総利益率はサービス型ビジネスの推進では1.2ポイント改善。
- 採算性改善により利益は計画に沿って推移。他方、訴訟判決関連損失・合併諸費用等、想定外の費用も発生。

連結決算概況

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	平成19年3月期 第3四半期実績		平成18年 3月期 第3四半期 実績	平成19年 3月期 修正予想	平成19年 3月期 期初予想
		対前年 同期比			
受注	29,110	△18.7%	35,818	-	-
売上	27,177	△8.0%	29,535	42,000	46,800
売上総利益	7,600	△3.8%	7,901	-	-
営業利益	1,084	△36.8%	1,716	-	-
経常利益	1,209	△38.7%	1,974	2,395	2,395
四半期純利益	621	△46.9%	1,170	1,291	1,392
受注残	15,289	1.7%	15,027	-	-

単体決算概況

(単位: 百万円 単位未満切捨て)

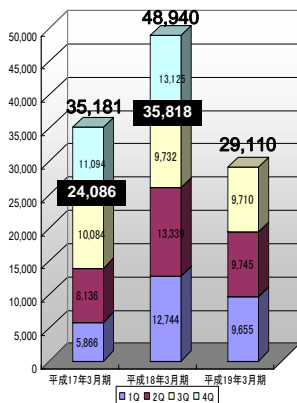
		平成19年3月期 第3四半期実績		平成18年 3月期 第3四半期 実績	平成19年 3月期 修正予想	平成19年 3月期 期初予想
			対前年 同期比			
受	注	29,093	△18.8%	35,815	-	-
売	上	27,159	△8.0%	29,533	42,000	46,800
売	上 総 利 益	7,133	△6.8%	7,651	-	-
营	業 利 益	806	△43.3%	1,422	-	-
経	常 利 益	929	△44.7%	1,680	2,030	2,030
四	半 期 純 利 益	460	△53.9%	1,000	1,074	1,180
受	注 残	15,289	1.7%	15,027	-	-

受注・売上・受注残の推移

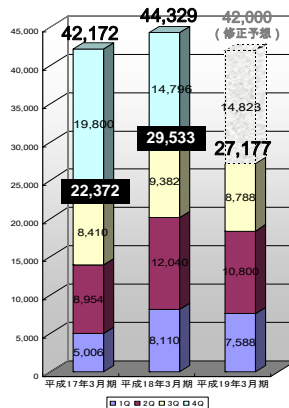
【ポイント】

- 主力のデータネットワークビジネス市場低調で、対前年同期比減収。
- 受注残は対前年同期比微増。

【受注高】

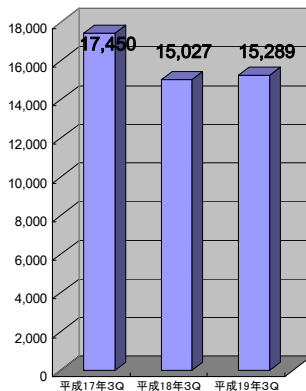


【売上高推移と予想】



【受注残】

(単位: 百万円 単位未満切捨て)

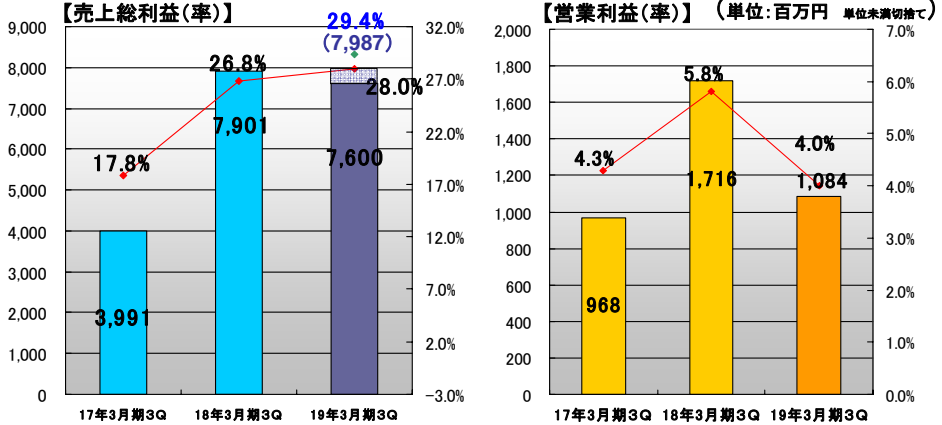


※17年3Qは連結決算を行っておりません。従って、表示指標は非連結決算数字です。

売上総利益(率)/営業利益(率)の推移

【ポイント】

- サービス型ビジネスの推進で売上総利益率が1.2ポイントの大幅改善。
- 販売管理費は対前年同期比で増加するが、営業利益は期初計画通りの推移。

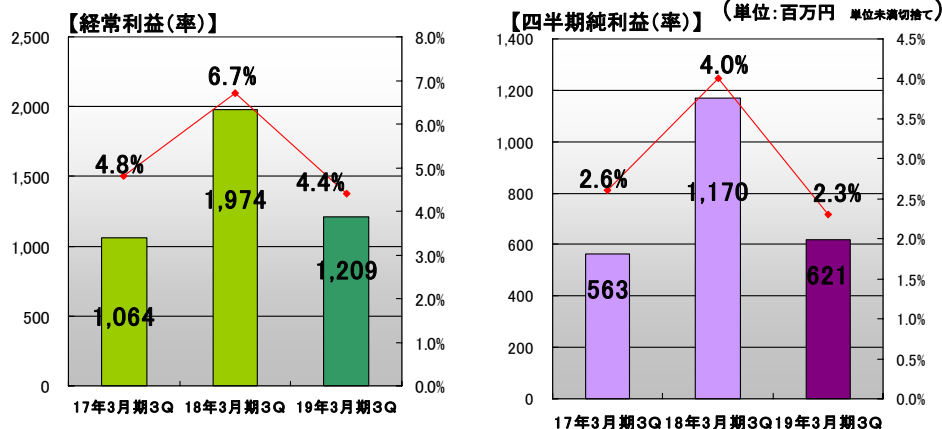


※17年3Qは連結決算を行っておりません。従って、表示指標は非連結決算数字です。
 ※今期より保守売上関連経費を売上原価に計上していることから、旧来の会計処理方法を採用した場合と比較して売上総利益額及び売上総利益率とも低い数字となっております。上記、旧来の会計処理方法を採用した場合の数値は青字にて表示しております。

経常利益(率)/四半期純利益(率)推移

【ポイント】

- 経常利益、四半期純利益とも対前年同期比で減収。計画値に対しては予定通り推移。
- 年金基金関連戻入益、訴訟判決関連損失、合併諸費用等により、特別損益 ▲1億40百万円計上。



※17年3月期は連結決算をしておらず、表示指標は非連結決算数字です。

連結貸借対照表の状況

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	平成19年3月期 3Q実績		平成18年 3月期 期末実績	主な増減要因
		対前期末比		
流動資産	22,970	△3.7%	23,854	現金及び預金 18億28百万円増 受取手形及び売掛金回収 47億72百万円減
固定資産	3,429	0.8%	3,400	のれん 1億87百万円増
資産合計	26,399	△3.1%	27,254	
流動負債	9,667	△9.3%	10,655	支払手形及び買掛金 16億89百万円減
固定負債	1,065	8.1%	985	退職給付引当金 61百万円増
負債合計	10,733	△7.8%	11,640	
純資産合計	15,665	0.3%	15,613	
株主資本比率	59.3%	2.0pts	57.3%	

連結キャッシュ・フローの推移

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	平成19年3月期 3Q実績		平成18年3月期 3Q実績
		対前年同期比	
営業キャッシュ・フロー	2,514	△46.4%	4,692
投資キャッシュ・フロー	△426	—	△384
財務キャッシュ・フロー	△262	—	479
キャッシュ・フロー計	1,828	△61.8%	4,790
現金及び現金同等物 の四半期末残高	8,716	△15.2%	10,273

平成18年3月期 ビジネス区分別業績概況(単体)

(単)ビジネス区分別受注・売上概況

【受注高】

(単位:百万円 単位未満切捨て)

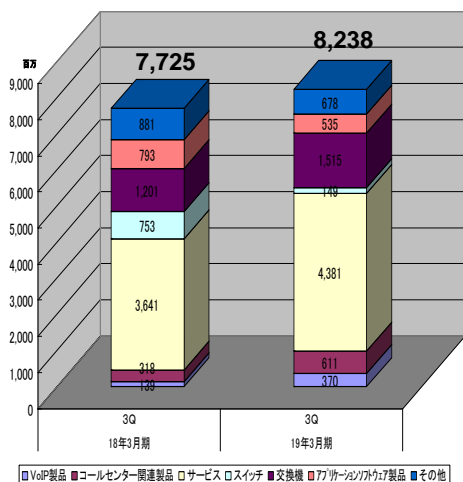
	平成19年3月期 3Q実績		平成18年3月期 3Q実績
		対前年同期比	
ボイスビジネス	8,448	△17.5%	10,239
データネットワークビジネス	17,173	△13.1%	19,763
システムビジネス	3,470	△40.3%	5,813
合計	29,093	△18.8%	35,815

【売上高】

	平成19年3月期 3Q実績		平成18年3月期 3Q実績
		対前年同期比	
ボイスビジネス	8,238	6.6%	7,725
データネットワークビジネス	14,956	△12.8%	17,143
システムビジネス	3,964	△15.0%	4,663
合計	27,159	△8.0%	29,533

(単)区分別売上 ボイスビジネス内訳

(単位:百万円 単位未満切捨て)

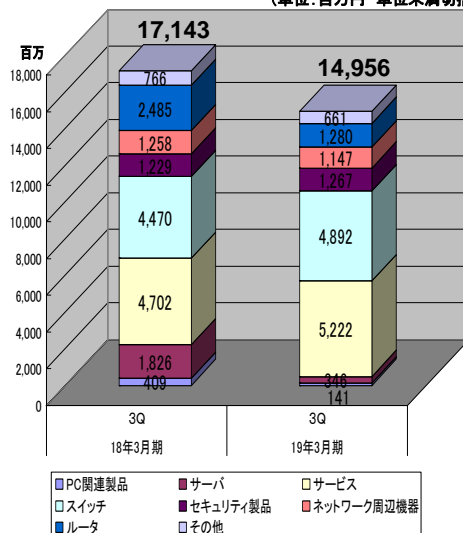


【ポイント】

- 大手金融機関向けのコンタクトセンタ案件等、市場は活況で大型案件の引合は増加。
- 第4四半期に向け受注加速。

(単)区分別売上 データネットワークビジネス内訳

(単位:百万円 単位未満切捨て)

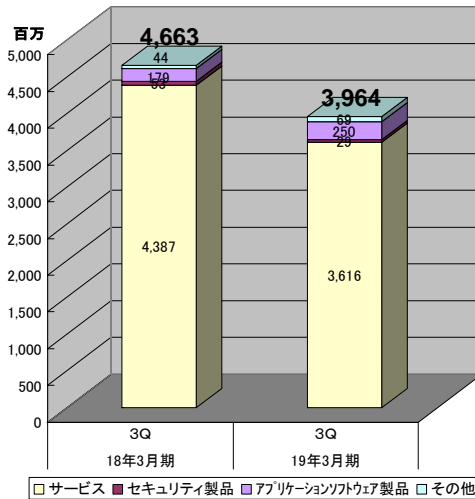


【ポイント】

- 市場の冷え込みは未だ回復せず、通信キャリア向けビジネス低調で減収。
- サービス型ビジネスへのシフト及びボイス/システムとの複合提案促進で、採算性は大幅改善。
- 製品別では、ルータ、サーバの販売が低迷。

(単)区分別 売上 システムビジネス内訳

(単位:百万円 単位未満切捨て)

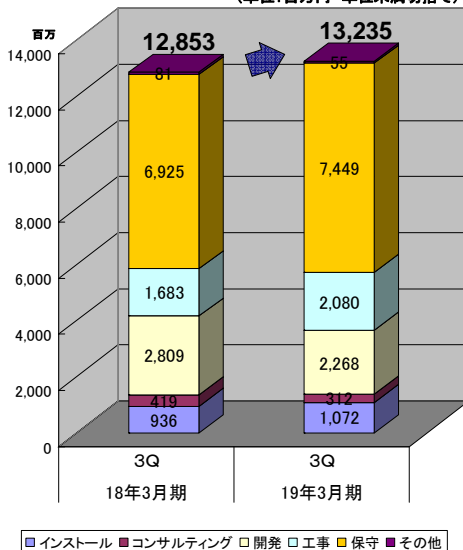


【ポイント】

- 既存の主要顧客案件から引き続き案件を獲得。規模は縮小傾向。
- 新規顧客チャネルを開拓すべく営業組織を再編。引合案件数は増加傾向。

(単)サービス売上構成

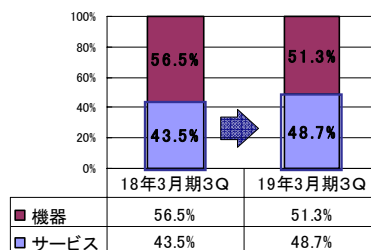
(単位:百万円 単位未満切捨て)



【ポイント】

- サービス売上高は前年同期比増加。サービス売上比率も向上(機器vsサービス比率はほぼ50:50へ)。
- 保守契約更新率の向上により、保守売上が増加。

【売上高構成比率】



(単)業種別売上高

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	平成19年3月期 3Q実績		平成18年 3月期 3Q実績	ポイント
		増減比		
サービス・情報システム	11,927	△18.4%	14,622	■ データネットワークビジネスが低調に推移したことから、サービス情報システムが前年同期比減。
通信・運輸	5,518	64.3%	3,359	
卸売・小売	2,681	△42.3%	4,646	■ ボイス案件の増加により、電気機器・金融・保険向けビジネスが増加。
電気機器	3,298	6.0%	3,112	
金融・保険	2,388	3.8%	2,300	
建設・不動産	622	△18.9%	767	■ 既存モバイルキャリア顧客向けビジネスの売り先変更で、卸・小売が減少し、通信・運輸向けが増加。
その他	721	△0.6%	725	
計	27,159	△8.0%	29,533	

通期見通し

(単位:百万円 単位未満切捨て)

連結	平成19年3月期 通期		平成18年3月期 通期実績
		増減率	
売上高	42,000	△5.3%	44,329
経常利益	2,395	△23.2%	3,120
当期純利益	1,291	△22.2%	1,660

単体	平成19年3月期 通期		平成18年3月期通期 実績
		増減率	
売上高	42,000	△5.2%	44,325
経常利益	2,030	△25.5%	2,724
当期純利益	1,074	△24.8%	1,428

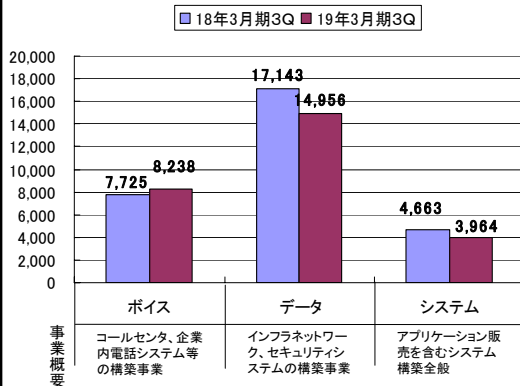
参考業績分析

ソリューション別売上業績

ドメイン別 売上内訳

(単位:百万円 単位未満切捨て)

(単位:百万円 単位未満切捨て)



事業概要

コールセンタ、企業内電話システム等の構築事業

インフラネットワーク、セキュリティシステムの構築事業

アプリケーション販売を含むシステム構築全般

ボイス	コールセンタ/コンタクトセンタ	3,942	
	バックオフィス	1,634	
	ディールング/トレーディング	229	
	サービス	CRMアプリケーション	189
		ソフトウェア	71
		コンサルティング	132
		運用支援サービス	27
保守	1,946		
その他	64		
合計	8,238		
データ	インフラネットワークインテグレーション	8,993	
	セキュアネットワーク	1,400	
	アクセラレーション	209	
	ワイヤレスネットワーク	157	
	サービス	コンサルティング	38
		CyberWatch	85
		監視サービス	18
保守		3,807	
その他	245		
合計	14,956		
システム	システム/ミドルウェアインテグレーション	1,815	
	ネットワークコンピューティング	46	
	パッケージ販売	284	
	サービス	保守	1,506
その他		310	
合計	3,964		

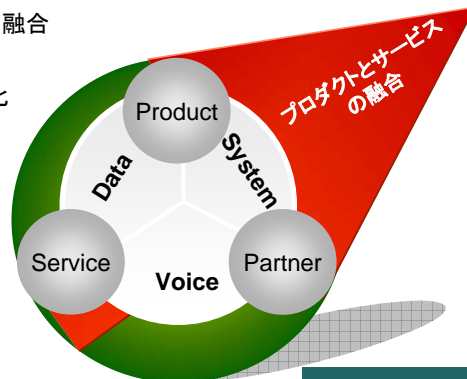
下半期 進捗状況

取締役常務執行役員 営業部門統括
鈴木 茂男

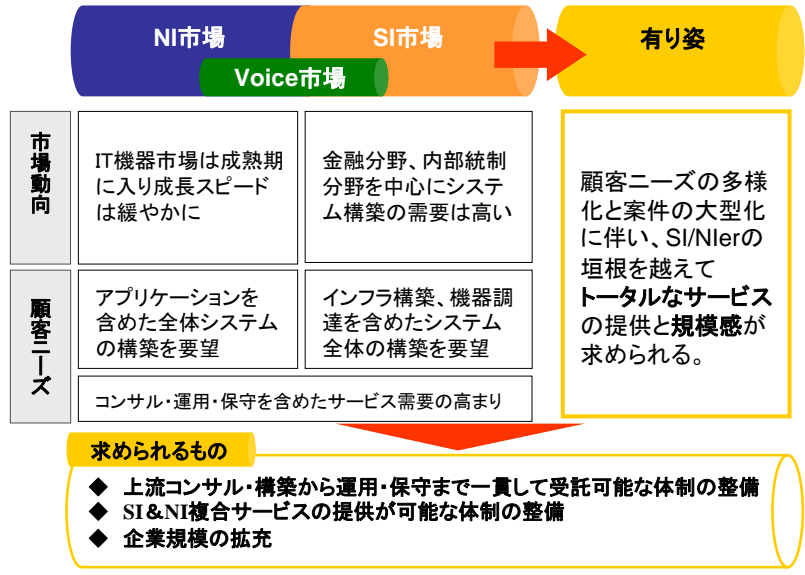
中期経営計画テーマ

「Product & Service Convergence」 (プロダクトとサービスの融合)

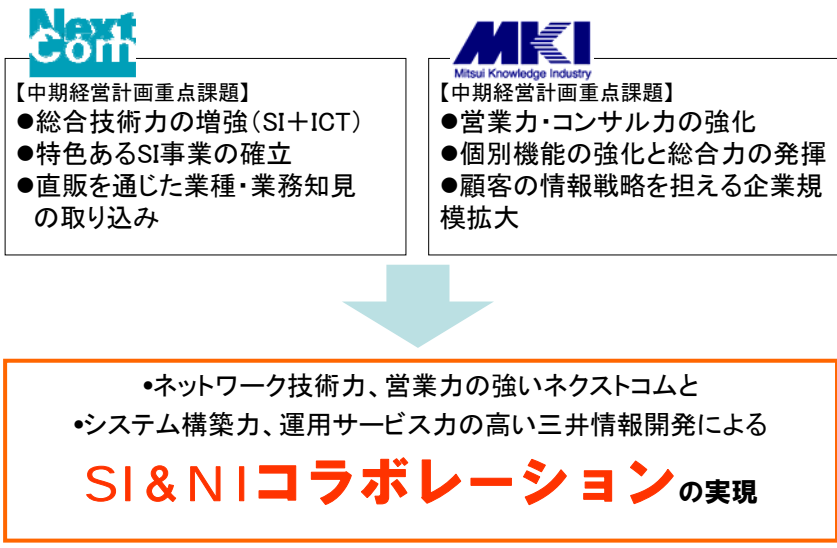
- ➡ プロダクトとサービスの最適化
- ➡ データ・ボイス・システムの融合
(ビジネス機能向上)
- ➡ 営業、技術、管理の一体化
(組織機能向上)



市場環境

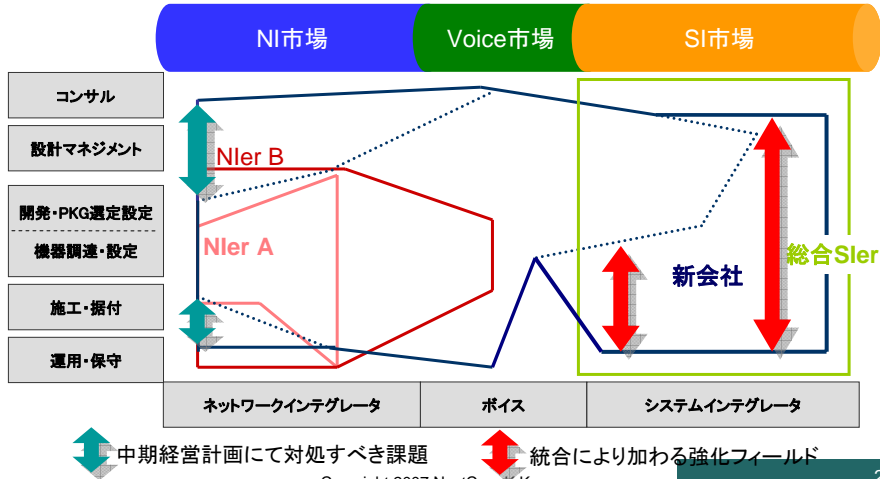


合併の目的

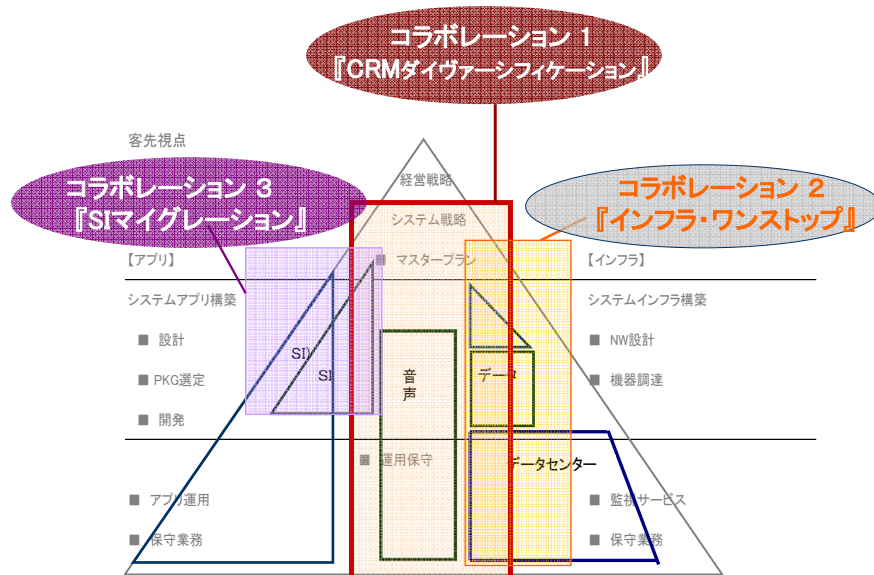


目指すビジネスフィールド

- ・ボイス、データネットワーク、SIビジネスから成る**SI/NI 領域**
- ・コンサルティングから設計、運用・保守にわたる**切れ目ない機能**
- ・売上高1000億円への再チャレンジ



コラボレーションの概念図 ①





www.nextcom.co.jp

平成19年3月期
第3四半期決算説明会
ネクストコム株式会社